

国営緊急農地再編整備事業

どう ぜん へい や
道前平野地区

事業概要



写真：中山川河口付近より西方向、中山川左岸側を望む

農林水産省
中国四国農政局
道前平野農地整備事業所

本地域は、四国有数の水田地帯です。また、温暖な気候と農業用水の安定供給により、生産量全国1位を誇るはだか麦の生産をはじめ、水稻、大豆、飼料作物、さといも等、多様な作物が組み合わされた複合経営が展開されています。



水 稻



はだか麦



大豆



さといも

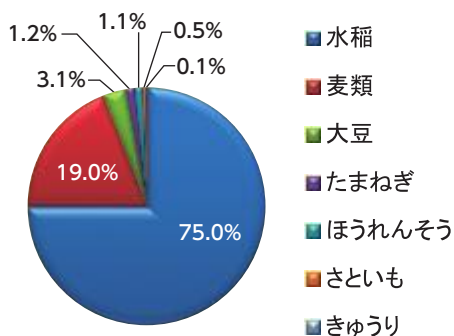


いちご



アスパラガス

類別作付面積の構成比（西条市）



※農水省HP「H25作物統計調査」より

はだか麦収穫量ベスト5市町村（H25年度）

県名	市町村名	作付面積 (ha)	収穫量 (トン)	収穫量 全国シェア (%)
愛媛	西条市	839	2,390	17
大分	宇佐市	488	1,170	8
大分	中津市	242	816	6
香川	丸亀市	182	685	5
愛媛	松前町	208	673	5
全国計		4,847	14,245	100

※農水省HP「H25作物統計調査」より
全国計は市町村別の合計値

はだか麦について

○はだか麦は大麦の一種で、脱穀すると簡単に穎（エー穀粒を包んでいる皮）が取れることから「はだか麦」と呼ばれており、主に東海近畿より西で栽培され、特に瀬戸内海沿岸で取れるものが高品質とされています。脱穀しても穎が取れにくいものは「皮麦」と呼ばれ、耐寒性が高いことから関東以北に多く分布しています。

○うるち性の品種ともち性の品種があります。

○大麦には穂に小花が6条ずつ並んでつく六条大麦と、2条ずつ並んでつく二条大麦があり、日本で栽培されているはだか麦はほぼ六条大麦に分類されます。



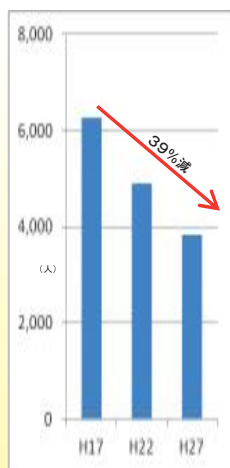
※中国四国農政局HPより

2

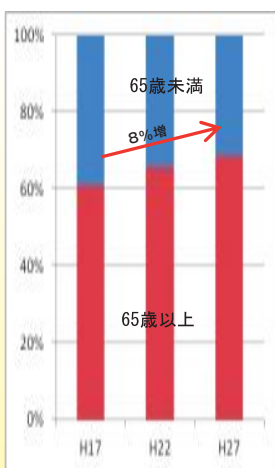
事業の必要性・緊急性

本地区は県下有数の農業地帯である反面、農業就業人口の減少、農業従事者の高齢化や後継者不足等により耕作放棄地が増加するおそれがあります。

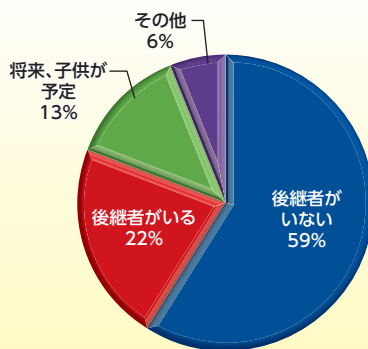
農業就業人口の推移



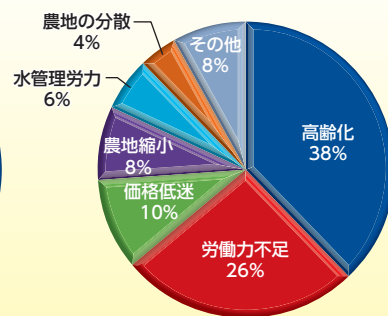
農業就業者年齢層の推移



後継者の状況



概ね10年後の所有農地耕作放棄理由



資料：2005・2015年農林業センサス及び
2010年世界農林業センサス（西条市）

出典：H25～H26受益予定者アンケート調査結果

本地区の農地の区画は、低平地や平坦地では比較的整っているものの狭小であり、一方、傾斜地では不整形なものが多く見られます。それに加え、道路や水路などの生産基盤の整備の遅れにより、農地の利用集積が進んでいない状況です。



低平地・扇状地の狭小な区画



傾斜地の不整形な区画



狭小な耕作道



受益地内の耕作放棄地

地区内河川の中・下流周辺では降雨時に慢性的な湛水が発生し、水田畑利用に支障を来たしています。



既設水路溢水
(田野上方東団地)



河川溢水によるハウス冠水
(周布団地)



排水不良による大豆冠水
(明理川団地)



既設水路溢水
(北条団地)

3

事業の目的

本事業は、区画整理及び農業用排水施設の整備を一体的に行い、農業生産性の高い基盤の形成と、排水改良による湛水被害を解消することを目的としています。

(1) 区画整理

農地の整形 大区画化



整備された農地

道路の整備



整備された農道

用水路・排水路 の整備



パイプライン化による自動給水栓



支線排水路

(2) 農業用排水

排水改良による湛水解消



幹線排水路



排水機場

4

事業の内容

関係市 : 愛媛県西条市

受益面積 : 677ha

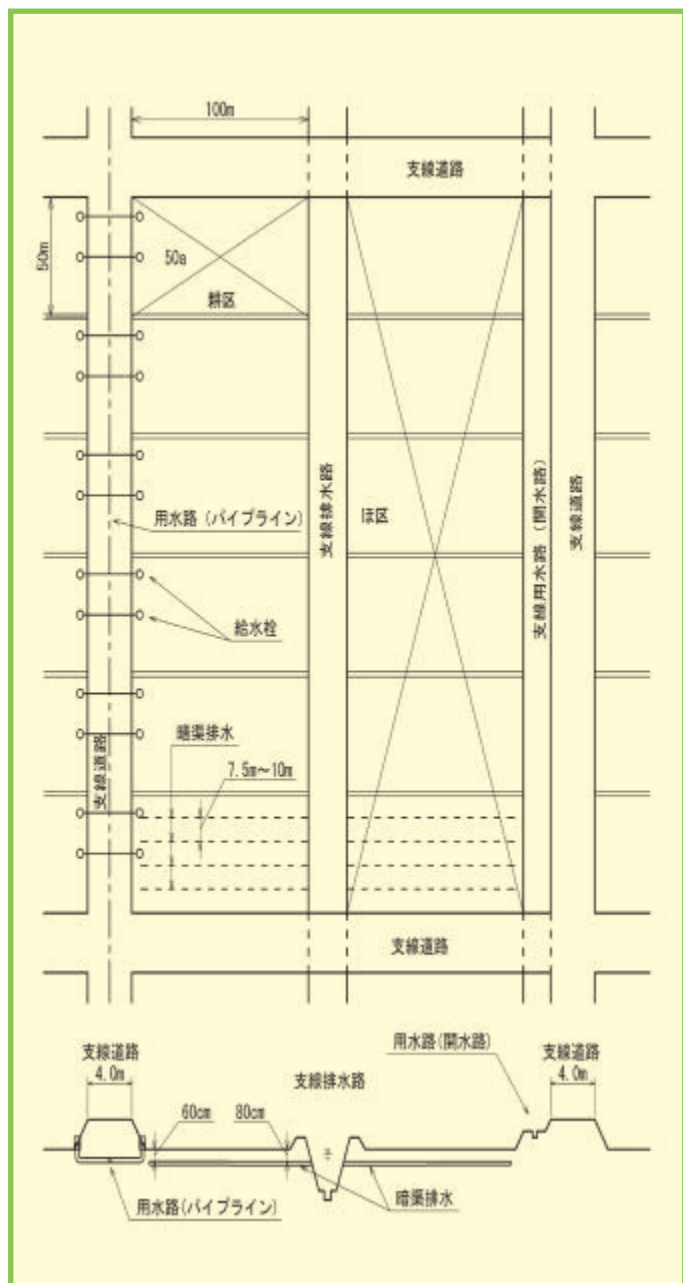
区画整理650ha、農業用排水320ha(うち、排水単独27ha)

事業期間 : 平成28年度～平成41年度(事業工期14か年を予定)

総事業費 : 260億円(区画整理190億円、排水施設70億円)

主要工事 : 区画整理650ha、幹線排水路7.8km、排水機場1か所

区画整理工標準図



道前平野地区の工種別計画内容

【区画整理】

項目		内容
区画計画	標準区画	50a(一部30a)
	畦畔	土畦畔(植生工)
道路計画	幅員	支線A 全幅5.5m(有効4.5m) 支線B 全幅4.0m(有効3.0m) 耕作道 全幅3.0m(有効2.5m)
	舗装	As舗装(支線A)、碎石舗装
用水計画	水源計画	ダム、取水堰(道前道後用水) 溪流、ため池、揚水機等(既存)
	配水方式	管水路(加圧)及び自動給水栓 (一部、開水路)
排水計画	基準降雨	210mm/d(1/10年)
	排水路形式	PC7リウム及び土羽
暗渠計画	配置	7.5m~10m 間隔
	吸水渠	φ75mm
	埋設深さ	上流端60cm、下流端80cm

【農業用排水】

項目		内容
排水機場	箇所数	1箇所
	形式、口径、台数	斜流、1,000mm、3台
排水路	構造	コンクリート2次製品
	延長	7.8km

区画整理によるほ場の大区画化等により、担い手への農地利用集積の促進と農作業の効率化を図ります。

区画整理と併せて排水改良を行うことにより、水田の汎用化と農地の湛水被害を防止し、麦・大豆等の作付面積を拡大するとともに、土地利用効率の向上を図ります。

◆農地利用集積の促進

実施前



実施後



担い手農地利用集積率

現況 40% → 計画 83%

◆麦・大豆等の作付面積

	【現況】	【計画】
麦	173ha	→ 252ha (146%)
飼料用米	5ha	→ 36ha (720%)
大豆	48ha	→ 96ha (200%)
さといも	8ha	→ 19ha (238%)
ブロッコリー	11ha	→ 12ha (109%)
土地利用効率	105%	→ 141% (+36pt)



◆農作業の効率化

労働時間短縮率

【現況】 317hr/ha

【計画】 100hr/ha

(▲68.4%)

営農経費削減率

【現況】 2,239百万円

【計画】 1,113百万円

(▲50.3%)

◆事業効果

- ・農作業効率化による農業経費の節減
→ 約11億円/年
- ・農地利用集積促進による耕作放棄防止
→ 約1千万円/年
- ・排水改良による湛水被害防止
→ 約6.6億円/年

6

環境との調和への配慮 ～地域資源を支える取組～

多面的機能支払交付金を活用した、活動組織による農村環境保全活動等が取り組まれています。



カワニナ(ホタルの幼虫の餌)の放流



外来種ジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）の駆除

7

地域活性化 ～6次産業化等の推進～

J A周桑直売所では会員農家が直接持ち込んだ農産物を販売。地場産加工品の開発・販売等を通じて、6次産業化等を推進しています。



J A独自の栽培手法を取り入れた
オリジナル米の対面販売



地場産加工品
対面販売

事業実施前



事業実施後



～未来へ引き継ごう豊かな農地を～

問い合わせ先

農林水産省 中国四国農政局
道前平野農地整備事業所

〒799-1371

住所：愛媛県西条市周布220番地1

TEL (0898) 35-5253

FAX (0898) 35-5254

平成28年8月作成

国営緊急農地再編整備事業
道前平野地区 計画平面図



受益面積 (ha)	
区画整理	650
農業用排水	320(27)
計	677

注) 農業用排水の()書きは区画整理との重複除く面積

